

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		聖隷こども発達支援センター和合 (聖隷こども発達支援センターかるみあ和合)				公表日	2025年 3月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点	
環境・ 運営・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	はじめたばかりだが、必要と思うものは適時、揃えていると思う。 訪問支援記録用紙は、個々の様子に合わせて支援内容を細かく記載できるようになっている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	支援が必要な学年から支援サービスを行っている。	始めたばかりで、希望者全員にはまだ取り組めていない。 待機している方がいるため、体制を補強していく必要がある。 保護者に利用希望のアンケートを依頼したが、ニーズに対して 職員の配置数が足りないように感じる。今後、職員体制も整えていくことが課題となる。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	アンケートを実施している。様々な声をいただいて改善に繋げていきたい。 保護者の方からの声をもとに、よりよい訪問支援へと繋げていきたい。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	打ち合わせ、会議等を行っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		まだ実施していない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		訪問支援についても研修や学ぶ機会があると良い	
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	こども本人に対する支援の目標を職員間で共有し、訪問支援で何ができるかを問いかけながら 作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	カンファには、他職種職員が参加し 議論を重ねている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	園訪問して園の目標や意向を確認している。 初回訪問の際には、訪問先施設での表れと児発での様子や表れをすり合わせ、訪問先施設の意向を尊重している。そしてこどもの育ちを支えることができるよう、信頼関係を築くよう努めている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	児発でのアセスメントツールを共有している。	訪問支援のみのアセスメントツールはない。あれば使ってみたい	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	訪問先施設で、こどもの発達段階や特性、環境などを職員の方と一緒に考え、こどもが集団生活の中で安心してすごし適応力をあげていけるように話し合いを重ねて支援に繋げている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	訪問先でのチェックポイントや支援ポイントを確認しあって訪問支援に出かけている。	訪問後の共有はしているが、事前の打ち合わせまでは全員はできていない。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	訪問後には、職員間で情報共有をしている。	必ずというと難しい。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	1	園が大切に考えている事、支援手法を尊重しながら行うようにしている。園とのコミュニケーションの中で思いを聞きながら、了解可能な支援方法を伝えるよう努めている。	まだ訪問支援がスタートして日が浅いため、今後も訪問先の理念や支援手法を尊重したり 探りながら支援をしていきたいらと思う。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	記録をとり、職員間で情報共有するなかで 発達の過程をとらえどのような支援が適切なのか、何が課題なのかをふりかえっている。		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1		まだ見直しの時期がきてない。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	児発との並行の児が多いため、課題となる点については療育の中で力をつけていけるように職員と情報共有し連携をとっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	園の考えや進捗状況を確認しながら進めている。	今後、このような段階に移行していくため丁寧に移行支援に繋げていけるように配慮していく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0		今後もより専門性を高めていけるように学べる機会を増やしてほしい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	児発管や所長が参加し、地域の現状を捉えている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	訪問支援後に必ず報告をする中でコミュニケーションを図っている。 訪問の報告のときには、丁寧に状況についてお話しをしているが、共通理解に結びつくまでには時間がかかる。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	ペアプロは行っていないが、保護者座談会を行ったり、家族への研修や講演会、イベント情報は掲示板などを使って案内している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	訪問の報告の際に、話をする時間を長めにもうけるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1		きょうだい支援はまだできていない
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	園から療育の見学や話し合いの申し出を頂いた際には迅速に対応させていただいた。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	園の都合にもよるが、ほぼ行っている。 その時の状況によりますが、貴重なお時間を割いてくださり、情報共有ができてます。 ありがとうございます。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		保護者にマニュアルの周知までは十分ではない。

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		